ふじやまだより

第45号
発行
2006年
9月15日
本郷ふじやま公園
運営委員会

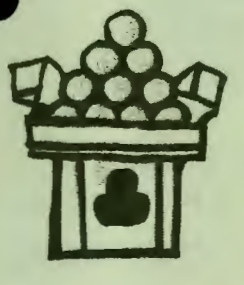
ホームページ　http://www.k5.dion.ne.jp/~h_fuji_p

♪十五夜お月さん、ご機嫌さん・・・♪

私たちは満ち欠けする月に生命力を感じて、信仰心を起こし、供物をささげてきました。月には兎がいて餅をついているという信仰があります。『竹取物語』のかぐや姫が月に帰って行ったのも十五夜です。お月見は私たちの生活に豊かさと潤いを与えてくれる大切な年中行事です。

この「中秋の名月」、「十五夜」、「芋名月」と呼ばれる旧暦８月１５日の月には、おだんごやお餅(中国では月餅)、ススキ、サトイモなどをお供えします。お月見行事のルーツは、中国各地では月見の日にサトイモを食べることから、もともとはサトイモの収穫祭であったという説が有力となっています。その後、中国で宮廷行事としても行われるようになり、それが日本に入ったのは奈良～平安時代頃のようです。

ふじやま公園周辺の地域でどのようにお月見の行事がされできたかという記事が小菅ヶ谷の町内紙に残っています。「（略）十五夜には里芋、栗、柿、豆腐を皿に乗せ、又一升四勺の粳米の粉で作った十五個の団子を三方又は皿に乗せて、卓袱台の上に飾り、白鳥の徳利又は一升瓶に、ススキ、ハギ、オミナエシ、ワレモコウなどの秋草を立てて名月に供えます。夕食は、ケンチン汁と、小豆御飯をたべました。子供等は薄暗くなるのを待ってそれぞれ竹の先に針を付けて近所の家の団子や柿など月に供えてあるものを刺して盗って廻った。どの家も盗られても知らぬ振りをした。又盗られると縁起がよいと縁側の盗りやすい所に置いた。（略）」（『かわら版こすがや第２２号』大谷さん）



また、日本では旧暦８月１５日だけでなく旧暦９月１３日にも月見をする風習があり、こちらは「十三夜」「後の月」「栗名月」とも呼ばれています。十三夜の風習は中国にはないようです。

♪♪８月の来園者数と団体来園状況♪♪合計:898名

(来園日)	(グループ名)	(人数・内数)
7日(月)	笠友紀行会	16名
11日(金)	鍛冶ヶ谷歴史ハイク	29名
25日(金)	公田児童保育	13名
26日(土)	ローレルスクェア自治会子供会	11名

歴史散策第十四回　金沢八景シリーズ（その4）

9月7日(木)は雨天予報のため14日(木)に延期になり、能見堂から赤井・小泉の健脚コースを散策の予定です。能見堂駅前ー京急シティ能見台西バス停ー六石峠ハイキングコースー能見堂跡ー《昼食》ー赤井温泉ー赤井温泉正法寺ー滝の不動妙王ー赤井バス停ー小泉バス停ー手子神社ー【小泉の夜雨】

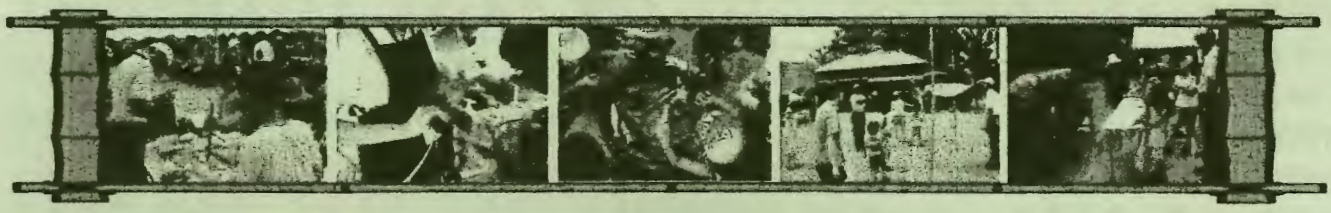
次回の散策予定は、第十五回１０月５日（木）上行寺から【内川の暮雪】そして朝比奈切通しです。　なお記事中【　】は金沢八景です。

「小泉の夜雨」歌川広重　横浜市のホームページから

竹工作まつり

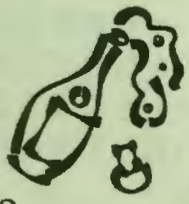
夏休みも終盤に入った8月20日(日)古民家中庭で、「竹工作まつり」が開かれました。公園の竹材を利用して竹細工を作ってその場で楽しもうという企画です。

暑い中80人以上の老若男女が集まりました。魚釣りに無心の幼児とお母さん、竹ツバメの羽を調整する女の子、大根鉄砲を使っての射的に熱中する男の子とお父さん、竹トンボの羽の形とひねりを応援のスタッフと熱心に相談している少年や、子どもをそっちのけの若いお父さん、ぶんぶんせみ、オギャオギャ笛などなど和気あいあいの風景が各テントに見られました。おにぎりとラムネを販売していましたがラムネは珍しがられていました。ふじやま公園の竹炭も販売され好評でした。



古民家Q&A　第9回

ラムネとサイダー



Q：真夏の竹工作まつりでは冷たいラムネが好評でした。
　その中での素朴な疑問　ラムネとサイダーとの違いは？

A：両方とも甘味料、酸味料、香料を加えた炭酸水で本質的には同じものです。ただし、ラムネは「玉ラムネびんに詰められた炭酸ガス入り飲料」と定義され、独特の形をしたビンによってサイダーと区別されます。

ラムネは嘉永6年(1853年)ペリーの浦賀来航とともに日本にもたらされました。当初レモネードの名称でしたが、なまってラムネになりました。明治になって日本人の手で製造販売されるようになり、ラムネは日本で初めて製造された清涼飲料でした。

サイダーは明治40年代に登場し、当時コレラの予防薬としてブームになりました。サイダーは発泡性と味が似ているシードル（Cidreフランス北部のりんご酒）が英語読み（Cider）になまったものと、言われています。どちらにも内容液量の4倍ぐらいの体積の炭酸ガスが溶けています。炭酸ガスは食欲を増進させたり、血行を良くする働きがあるとも言われています。

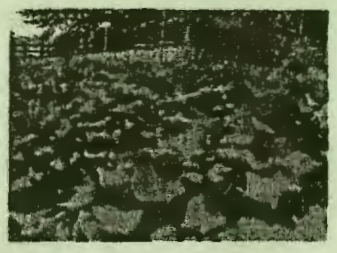
「農園は今」

農芸部会　中谷

8月の或る日、青い空、陽射しは燦燦、気温はうなぎ上り、農園は今、農作物が伸び盛り、雑草もはびこり、里芋のズイキの高さは、人の背丈に迫る勢い、土の中では親芋、小芋、孫芋が大きく育って居ると思われる。さつま芋のツルは、四方八方自由に伸び生命力に驚く。

首にはタオル、腰には蚊の攻撃防御に蚊取線香をぶら下げた農芸部会メンバー、数十名が定例作業日の定刻を待ち構え集まる。

準備体操後、各作業に別れ、剪定、草刈、作柄チェック、カブト虫の飼育管理、肥料や水の散布を、水分補給しながら一時間半たっぷりと夏の汗をかく。



濡れたシャツに木陰の風が心地良い、作業後の達成感、汗を拭き拭き木陰での談話ミーテング、冷たい麦茶がのどを心地よく通る、農園は今、真っ盛り。

古文書解読講座　　栄区制２０周年記念事業協賛

小岩井家の古文書の内、天保七年から嘉永七年までの「御賞美（＝ご褒美）の一つ書き」について、横浜市立博物館学芸員の斉藤司先生から解読と解説を頂き、当時の鍛冶ヶ谷村の歴史を勉強します。

11月3日（金）　１３：３０～１５：００　　古民家座敷にて実施します。当日は筆記具をお持ちになり、直接に受付にて参加費５００円を払ってご参加ください。

10月度公園活動予定

●事務局
- 事務局会議　6日(金)
- リーダー研修会　14日(土)　開講

●農芸部会
- 定例部会　16日(月)
- 定例作業　2日(月)・5日(木)　9日(月・祝)・12日(木)　19日(木)・23日(月)　26日(木)・30日(月)

●里山部会
- 定例作業　14日(土)・21日(土)　22日(日)

●古民家歴史部会
- 定例部会　8日(日)
- 歴史散策　5日(木)　内川の暮雪など
- 古文書講座準備会　随時

●工作棟部会
- 竹灯籠作り　1日(日)
- 定例部会　25日(水)

●クリーンアップ　3日(火)・17日(火)

●囲炉裏守
- 囲炉裏焚き日　1日(日)・8日(日)・11日(水)・15日(日)・25日(水)

●ふじやまだより編集会議　8(日)

●ホームページ制作打合せ　10月28日(土)

ふじやま公園でも、１０月７日（土）１５時から十五夜のお月見会が開かれます。縁側にお団子、秋の野菜、草花をお供えするほか、野点15時～16時（先着50名300円）、句会16時～17時（自由参加）、お月見団子16時～17時（先着100名200円）、ふじやま蕎麦16時～18時（先着100名500円）が販売されます。

お月見コンサート 18時～20時

生田流お琴の合奏：六段の調べ、みずうみの歌、荒城の月、メドレーなど

民謡の調べ（唄、三味線、ギター）：秋田荷方節、津軽ジョンガラ節、会津磐梯山、ソーラン節、真室川音頭、花笠音頭など

ソプラノ、ヴァイオリン、フルート、電子ピアノの合奏：曲目未定

楽しい教室のお知らせ

奮ってご参加ください、お待ちしております。

教室名	日時	内容	材料費	応募期限
クラフト （全2回）	10月11日(水) 10月18日(水) 10時～12時	石だたみ編みで、マイバックを作る。	1500円	9月30日(土)
作って遊ぼう～ 子ども工作の日	10月15日(日) 10時～15時	ドリームキャッチャー (夢をつかもう)	無料	受付時間 10時～11時 13時～14時
古布・押し絵 （全2回）	11月6日（月） 11月20日(月) 10時～12時	椿の色紙	1300円	10月20日(金)
和紙ちぎり絵 (全2回)	11月10日(金) 12月8日（金） 13時～16時	12月にふさわしい雪景色を張ります。	1500円	10月31日(火)
炭焼き体験教室 (全3回)	11月11日(土) 11月12日(日) 11月18日(土)	9時～12時(窯詰め) 8時～16時（火入れ） 9時～12時(窯だし) 3回とも出席できる方。		10月31日(火)
第21回初心者 茶道体験教室	11月18日(土) 13時～16時	表千家:古民家で茶道を体験しませんか、男性の方も。 （先着１０名まで）	500円	10月25日(水)
創作人形 （全3回）	11月17日(金) 11月24日(金) 12月1日（金） 13時～16時	お雛様のレリーフ （樹脂粘土で作ります、軽いので画鋲１本で止められます。）	1800円	10月31日(火)
造形遊び	11月22日(水) 13時～15時	木の実を使ったリース作り。	1500円	10月31日(火)
布ぞうり	11月26日(日) 10時～15時		300円	10月31日(火)
里山のそば打ち塾	11月25日(土) 10時～13時	自分で打った蕎麦は大変美味しいです。体験者も可	700円	10月31日(火)
草木染め (全2回)	11月28日(火) 12月12日(火) 13時～16時	ヨモギ・お茶で2作品、シルクのストールを染めましょう。	1作品 2000円	10月31日(火)

（1）持参品：返信ハガキで連絡します。（2）定員：12名。応募者多数のときは抽選。（3）応募要領：往復ハガキに、教室名、氏名（ふりがな）、郵便番号、住所、電話番号を書いて応募期限までに本郷ふじやま公園へ

お知らせ　☆　竹灯籠作り　☆　　日時　10月1日（日）10時～12時

お月見の会で園路を飾る竹灯篭をつくります。材料費（和紙・ランプ代）300円、
月見の会終了後お持ち帰り頂き、お部屋のインテリや玄関先の明りとりに使用できます。
募集人員：先着５０名、公園事務所へ直接お申込み下さい。

・開館時間：　９：００～１７：００　・入館料：無料
・休館日　：　１０月４日（水）
・クリーンアップ作業：１０月３日（火）、１７日（火）１０時～１１時

◆本郷ふじやま公園運営委員会
〒247-0009　栄区鍛冶ヶ谷1－20　TEL:896-0590　FAX:896-0593
「ふじやまだより」　に対するご意見やご感想を電話、FAXでお気軽にどうぞ。